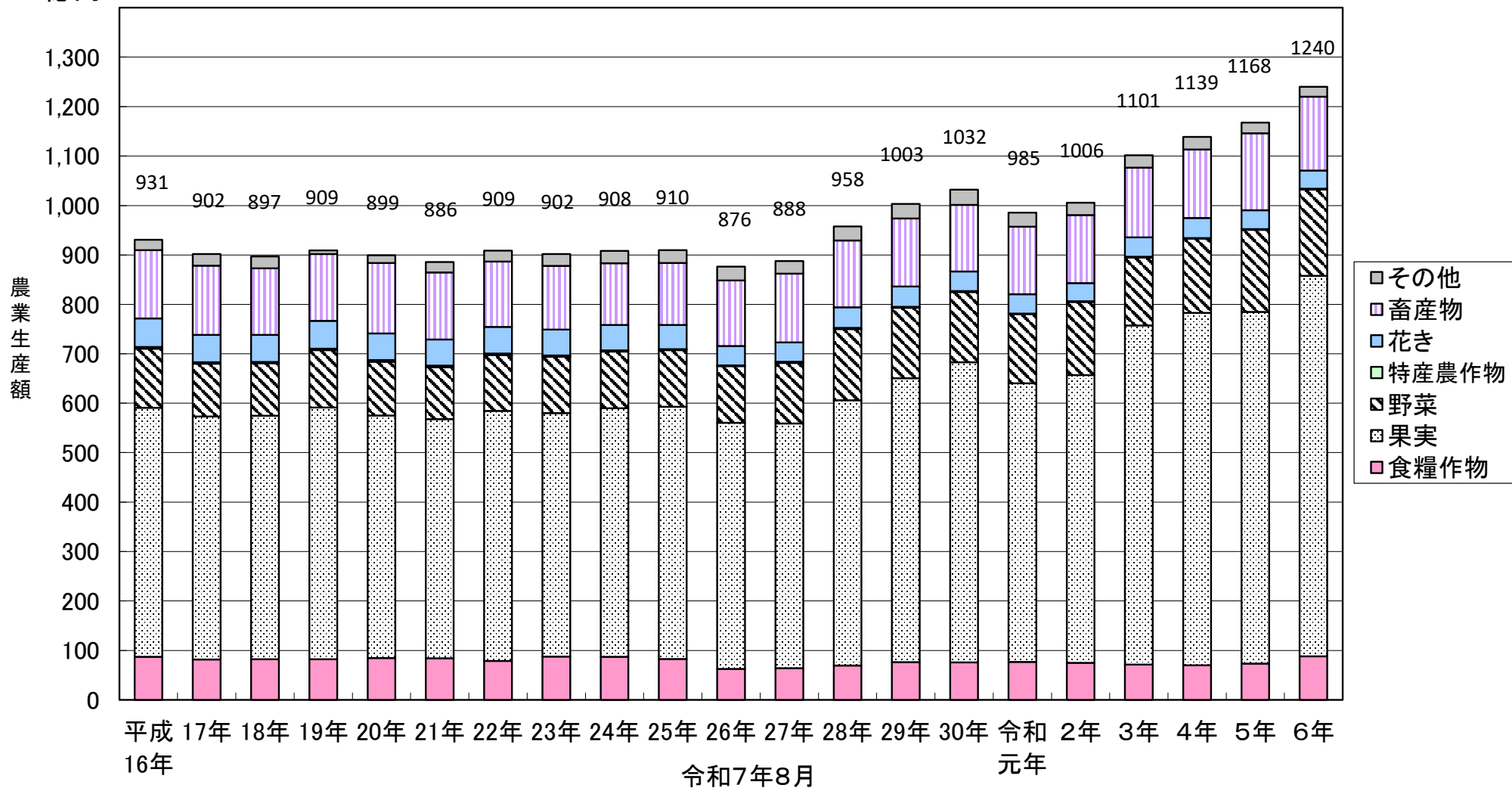


令和6年 農業及び水産業生産額実績

億円 (農業生産額実績の推移)



I 農業

(単位: 百万円、%)

項 目	令和元年		令和2年		令和3年		令和4年		令和5年(A)		令和6年(B)		令和5年対比	
	生産額	構成比	生産額	構成比	生産額	構成比	生産額	構成比	生産額	構成比	生産額	構成比	増減額 (B-A)	比率 (B/A)
米	6,610	6.7	6,520	6.5	5,988	5.4	6,067	5.3	6,444	5.5	7,882	6.4	1,438	122.3
麦、雑穀等	1,064	1.1	989	1.0	1,153	1.0	953	0.8	928	0.8	936	0.8	8	100.9
果 実	56,347	57.2	58,178	57.8	68,611	62.3	71,303	62.6	71,139	60.9	76,982	62.1	5,843	108.2
野 菜	14,014	14.2	14,802	14.7	13,748	12.5	14,976	13.1	16,589	14.2	17,475	14.1	886	105.3
特産農作物	141	0.1	147	0.1	135	0.1	131	0.1	106	0.1	109	0.1	3	102.8
花 き	3,875	3.9	3,689	3.7	3,938	3.6	4,031	3.5	3,857	3.3	3,683	3.0	△ 174	95.5
畜 産 物	13,660	13.9	13,741	13.7	14,081	12.8	13,845	12.2	15,550	13.3	14,926	12.0	△ 624	96.0
そ の 他	2,833	2.9	2,509	2.5	2,488	2.3	2,581	2.3	2,141	1.8	1,987	1.6	△ 154	92.8
合 計	98,544	100.0	100,575	100.0	110,142	100.0	113,887	100.0	116,754	100.0	123,980	100.0	7,226	106.2
前 年 対 比	95.5		102.1		109.5		103.4		102.5		106.2			

II 水産業

(単位: 百万円、%)

項 目	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年(A)	令和6年(B)	令和5年対比	
	生産額	生産額	生産額	生産額	生産額	生産額	増減額 (B-A)	比率 (B/A)
水 産 業	1,176	1,069	1,137	1,288	1,366	1,611	245	117.9
前 年 対 比	103.5	90.9	106.4	113.3	106.1	117.9		

(農 業) 令和6年の農業生産額は、前年比106.2%の123,980百万円となり、各品目の概況は次のとおりであった。
 米は、作付面積は前年比98.5%、生産量は前年比97.3%で、生産額は前年比122.3%の7882百万円となった。
 果実は、栽培面積は前年比97.7%、生産量は前年比97.3%で、生産額は前年比108.2%の76,982百万円となった。
 野菜は、作付面積は前年比98.9%、生産量は前年比93.6%で、生産額は前年比105.3%の17,475百万円となった。
 畜産物は、生産額は前年比96.0%の14,926百万円となった。

(水産業) 令和6年の水産業生産額は、前年比117.9%の1,611百万円となった。

1 食糧作物

区分 年次		作付面積(ha、%)			10a当たり収量(kg)		生産量(t、%)			生産額(百万円、%)			kg当たり単価(円)	
		5年(A)	6年(B)	比率(B/A)	5年	6年	5年(A)	6年(B)	比率(B/A)	5年(A)	6年(B)	比率(B/A)	5年	6年
米	水 稲	4,750	4,680	98.5	542	534	25,700	25,000	97.3	6,444	7,882	122.3	251	315
	陸 稲													
	小 計	4,750	4,680	98.5			25,700	25,000	97.3	6,444	7,882	122.3		
麦	小 麦	79	88	111.4	308	288	243	253	104.1	58	59	100.9	241	233
	大 麦	39	40	102.6	221	173	86	69	80.2	12	10	80.2	143	143
	裸 麦													
	小 計	118	128	108.5			329	322	97.9	71	69	97.3		
いも類	か ん し ょ	36	36	100.0	1,280	1,283	461	462	100.2	167	166	99.2	363	359
	ば れ い し ょ	254	251	98.8	980	970	2,501	2,440	97.6	495	531	107.3	198	218
	小 計	290	287	99.0			2,962	2,902	98.0	663	697	105.3		
雑穀	そ ば	186	187	100.5	67	58	125	108	87.0	50	51	101.5	400	467
	大 豆 (乾 燥 子 実)	212	203	95.8	101	98	214	199	93.0	71	70	98.1	333	352
	いんげん (乾 燥 子 実)	37	41	111.4	161	76	59	31	52.4	37	19	51.4	630	617
	小 豆	38	31	81.7	72	68	27	21	76.7	17	13	79.0	612	630
	落 花 生	37	34	91.7	127	109	47	37	78.7	19	17	87.4	402	446
	小 計	510	496	97.3			473	397	84.0	194	170	87.3		
合 計		5,668	5,591	98.6			29,464	28,621	97.1	7,372	8,818	119.6		

※統計表の数値については、表示単位未満を四捨五入しているため、表記した値とその比率が一致しないことがある。

《概況》

(水 稲) 水稻は、作付面積は前年比98.5%の4,680haであり、10a当たり収量も減少したため生産量は前年比97.3%となった。
端境期の8月から品薄状態が生じ、引き合いが強くなったことなどから、単価は前年比125.5%となり、生産額は前年比122.3%の7,882百万円となった。

(いも類) ばれいしょは、作付面積は前年比98.8%の251ha、生産量は前年比97.6%であったが、単価が前年比110%となったため、生産額は前年比107.3%の531百万円となった。

2 果実

項 目 品 目		栽培面積(ha)			結果樹面積(ha)			10a当たり収量(kg)			生産量(t)			生産額(百万円)			kg当たり単価(円)	
		5年(A)	6年(B)	比率 (B/A)	5年(A)	6年(B)	比率 (B/A)	5年(A)	6年(B)	比率 (B/A)	5年(A)	6年(B)	比率 (B/A)	5年(A)	6年(B)	比率 (B/A)	5年	6年
ぶ　ど　う		4,050	4,040	99.8%	3,790	3,790	100.0%	1,100	1,150	104.5%	41,700	43,600	104.6%	44,629	49,964	112.0%	1,070	1,146
も　　も		3,330	3,300	99.1%	3,090	3,060	99.0%	1,080	1,030	95.4%	33,400	31,500	94.3%	19,566	20,874	106.7%	586	663
す　も　も		846	840	99.3%	778	772	99.2%	731	659	90.1%	5,690	5,090	89.5%	3,041	3,074	101.1%	534	604
う　　め		354	345	97.5%	350	338	96.6%	472	359	76.1%	1,650	1,210	73.3%	337	299	88.9%	204	247
り　ん　ご		53	53	100.0%	47	45	95.7%	1,460	1,240	85.0%	686	558	81.3%	151	160	105.9%	220	287
お　う　と　う		325	327	100.6%	295	300	101.7%	304	156	51.3%	897	468	52.2%	2,181	1,474	67.6%	2,432	3,150
か　き	甘　柿	241	244	101.2%	215	214	99.5%	1,465	1,187	81.0%	3,150	2,541	80.7%	549	513	93.5%	174	202
	渋　柿	345	350	101.4%	313	313	100.0%	664	664	100.0%	2,080	2,079	100.0%	251	219	87.3%	120	105
日　本　な　し		26	25	96.2%	26	25	96.2%	1,369	1,182	86.3%	356	295	83.0%	120	116	96.2%	338	391
く　　り		58	57	98.3%	57	56	98.2%	103	101	97.7%	59	57	96.0%	7	7	94.0%	122	119
キウイフルーツ		55	53	96.4%	55	53	96.4%	1,412	1,123	79.6%	776	595	76.7%	214	188	87.9%	276	317
そ　の　他		58	57	98.3%	48	47	97.9%	381	399	104.9%	183	188	102.8%	93	93	100.1%	510	497
合　　計		9,741	9,691	99.5%							90,627	88,181	97.3%	71,139	76,982	108.2%		

※統計表の数値については、表示単位未満を四捨五入しているため、表記した値とその比率が一致しないことがある。

《概況》

果樹の栽培面積は前年比99.5%、生産量は前年比97.3%で、生産額は前年比108.2%の76,982百万円となった。

(ぶどう) 栽培面積は前年比99.8%の4,040haであった。シャインマスカットの生産量が引き続き増加したことから、ぶどう全体の生産量は前年比104.6%となった。高温による果実の日焼けや着色不良が見られたが、単価は前年比107.1%に上昇したことから、生産額は前年比112.0%の49,964百万円となった。

(も も) 栽培面積は前年比99.1%の3,300haであった。収穫期の多雨や高温の影響により過熟果や生理落果、着色不良が発生し、生産量は前年比94.3%にとどまったが、単価は前年比113.1%に上昇したことから、生産額は前年比106.7%の20,874百万円となった。

(すもも) 栽培面積は前年比99.3%の840haであった。開花期の低温により一部地域で結実不良が発生し、また、その後の高温で生育日数が短くなったことから小玉傾向となり、生産量は前年比89.5%と減少した。品質は安定したことから、単価は前年比113.0%となり、生産額は前年比101.1%の3,074百万円となった。

3 野菜

区分			作付面積 (ha、%)			10a当たり収量 (kg)		生産量 (t、%)			生産額 (百万円、%)			kg当たり単価 (円)	
作物名 年次			5年(A)	6年(B)	比率 (B/A)	5年	6年	5年(A)	6年(B)	比率 (B/A)	5年(A)	6年(B)	比率 (B/A)	5年	6年
果菜類	きゅうり	冬 春 きゅうり	19	19	100.0	6,470	6,470	1,230	1,230	100.0	252	277	109.9	205	226
		夏 秋 きゅうり	98	94	95.9	3,430	3,000	3,360	2,820	83.9	952	918	96.4	283	326
		小 計	117	113	96.6			4,590	4,050	88.2	1,205	1,195	99.2		
	トマト	冬 春 トマト	32	31	96.9	8,750	7,830	2,811	2,430	86.4	745	708	95.1	265	292
		夏 秋 トマト	78	76	97.8	4,287	4,040	3,391	3,070	90.5	1,136	1,127	99.3	340	367
		小 計	110	107	97.5			6,202	5,500	88.7	1,881	1,836	97.6		
	なす		126	124	98.4	4,710	4,380	5,930	5,430	91.6	1,826	1,840	100.7	308	339
	かぼちゃ		70	68	97.1	1,032	1,040	723	707	97.9	138	132	95.9	191	187
	いちご		20	20	101.1	2,329	2,303	458	458	100.0	714	729	102.0	1,559	1,590
	いんげん		89	80	89.9	387	377	344	302	87.6	303	273	90.2	880	906
	未成熟豆類		85	84	98.7	399	395	339	331	97.7	274	278	101.6	807	839
	スイートコーン		717	712	99.3	1,130	1,099	8,099	7,824	96.6	1,863	1,871	100.5	230	239
	合 計		1,334	1,308	98.1			26,686	24,602	92.2	8,204	8,154	99.4		
葉茎菜類	キャベツ	春 キャベツ	11	11	96.8	3,000	2,883	330	307	93.0	18	18	101.5	55	60
		夏 秋 キャベツ	104	94	90.4	2,630	1,840	2,740	1,730	63.1	134	114	85.2	49	66
		小 計	115	105	91.0			3,070	2,037	66.4	152	133	87.2		
	はくさい	春 はくさい	8	7	85.8	3,029	3,123	242	214	88.5	10	9	95.6	41	44
		秋 冬 はくさい	133	130	97.7	2,326	2,177	3,094	2,830	91.5	114	115	100.6	37	41
		小 計	141	137	97.1			3,336	3,044	91.3	124	125	100.2		
	つけな		30	26	86.7	3,690	3,781	1,107	983	88.8	60	56	93.5	54	57
	ほうれんそう		111	109	98.1	823	823	914	897	98.2	413	417	101.0	451	465
	ねぎ		109	107	98.2	1,397	1,369	1,523	1,465	96.2	565	565	100.0	371	386
	たまねぎ		46	45	97.5	2,652	2,699	1,220	1,210	99.2	145	145	100.2	119	120
	レタス	春 レタス	40	40	99.3	2,727	2,674	1,098	1,070	97.4	68	68	99.3	62	63
		夏 秋 レタス	68	68	100.0	2,420	2,356	1,646	1,602	97.3	168	177	105.2	102	110
		小 計	108	108	99.8			2,744	2,672	97.4	236	244	103.5		
	洋菜類		49	49	100.0	908	868	445	425	95.6	170	175	103.1	381	411
	合 計		709	685	96.6			14,359	12,733	88.7	1,865	1,860	99.7		
根菜類	だいこん	春 だいこん	11	10	90.9	2,574	2,710	283	271	95.7	15	15	99.9	54	57
		夏 だいこん	11	10	94.6	2,409	2,430	265	253	95.4	19	19	97.0	72	73
		秋 だいこん	168	168	100.0	2,288	2,232	3,844	3,749	97.5	169	168	99.5	44	45
		小 計	190	188	99.2			4,392	4,273	97.3	204	202	99.3		
	にんじん		21	19	90.5	1,269	1,321	267	251	94.2	26	27	101.7	98	106
	ごぼう		27	25	93.5	834	874	223	218	98.0	54	55	102.1	241	251
	さといも		81	80	98.8	1,725	1,684	1,397	1,347	96.4	514	506	98.4	368	375
	やまのいも		41	39	95.5	938	979	383	382	99.7	86	81	94.7	224	213
	合 計		360	351	97.7			6,662	6,472	97.1	883	871	98.6		
	その他の野菜		251	247	98.7	4,654	4,762	11,662	11,776	101.0	5,637	6,590	116.9		
総 計		2,653	2,592	97.7			59,368	55,583	93.6	16,589	17,475	105.3			

※統計表の数値については、表示単位未満を四捨五入しているため、表記した値とその比率が一致しないことがある。
※令和6年から「加工トマト」の項目を廃止。令和5年の数値は「冬春トマト」「夏秋トマト」に加算したため、昨年度公表したものと数値が異なる。

《概況》

野菜の作付面積は前年比 97.7%、生産量は前年比93.6%、生産額は前年比105.3%の17,475百万円となった。

(きゅうり) 作付面積は前年比96.6%の113ha、生産量は夏から秋の高温等の影響で前年比88.2%であったが、単価は全国的な品薄の影響により冬春きゅうりが前年比109.9%、夏秋きゅうりが前年比114.8%に上昇したため、生産額は前年比99.2%の1,195百万円となった。

(ト マ ト) 作付面積は前年比97.5%の107haであった。また、生産量は3月の低温や曇雨天による生育の遅れや夏から秋の高温等の影響で前年比88.7%となった。単価は品薄高の影響で冬春トマトが前年比110.0%、夏秋トマトが前年比108.0%であったが、出荷量が少なく推移したことから生産額は前年比97.6%の1,836百万円となった。

(な す) 作付面積は前年比98.4%の124ha、生産量は乾燥や猛暑などの影響で前年比91.6%であった。単価は他産地も高温等の影響で出荷量が減少したことから、前年比110.0%と比較的高く推移し、生産額は前年比100.7%の1,840百万円となった。

(スイートコーン) 作付面積は前年比99.3%の712ha、生産量は3月の低温の影響により前年比96.6%であった。単価は前年比104.0%となり、生産額は前年比100.5%の1,871百万円となった。

4 特産農作物

区分 作物名		栽培面積(ha、%)			10a当たり収量(kg)		生産量(t、%)			生産額(百万円、%)			kg当たり単価(円)	
		5年(A)	6年(B)	比率(B/A)	5年	6年	5年(A)	6年(B)	比率(B/A)	5年(A)	6年(B)	比率(B/A)	5年	6年
茶	荒 茶	80	75	93.9	28	25	23	19	82.6	38	45	119.1	1,650	2,379
蚕 繭		19	15	76.1			2	2	84.9	4	4	82.4	1,983	1,983
そ の 他		48	36	75.3			180	108	59.8	64	60	93.6	356	556
合 計		147	126	85.5			206	129	62.6	106	109	102.8		

※その他はこんにゃく、薬用作物、桑茶等

※統計表の数値については、表示単位未満を四捨五入しているため、表記した値とその比率が一致しないことがある。

※令和6年から「こんにゃく(生いも)」の項目を廃止。令和5年の生産量は「その他」に加算したため、昨年度公表したものと数値が異なる。

《概況》

特産農作物の栽培面積は、前年比85.5%の126ha、生産量は前年比62.6%であった。生産額は茶の単価が上がったため、前年比102.8%の109百万円となった。

5 花き

項目 品目		6 年									合 計					
		加温室栽培			無加温室栽培			露地栽培			面積			生産額		
		面積	生産額	単価	面積	生産額	単価	面積	生産額	単価	5年(A)	6年(B)	比 率 (B/A) (%)	5年(A)	6年(B)	比 率 (B/A) (%)
		m ²	百万円	円／m ²	m ²	百万円	円／m ²	a	百万円	千円／10a	a	a	(%)	百万円	百万円	(%)
切花類	き く	482	2	3,949	804	2	2,365	268	24	878	312	281	90.0	30	27	90.9
	バ ラ	13,752	84	6,110	3,395	13	3,948	－	－	－	207	171	83.0	115	97	84.7
	ス タ ー チ ス	157	1	3,943	4,436	15	3,324	103	21	2,016	156	149	95.0	39	36	92.2
	そ の 他 切 り 花 類	16,745	84	5,022	11,924	46	3,853	1,759	251	1,427	2,025	2,046	101.0	377	381	101.0
	小 計	31,136	171		20,558	76		2,130	295		2,701	2,647	98.0	562	542	96.5
球 根 類		－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
鉢花類	シンビジウム	52,297	463	8,850	－	－	－	－	－	－	455	523	115.0	433	463	107.0
	コチョウラン	49,999	880	17,603	－	－	－	－	－	－	575	500	87.0	973	880	90.5
	シクラメン	43,171	435	10,078	－	－	－	－	－	－	496	432	87.0	481	435	90.5
	そ の 他 鉢 花 類	56,133	411	7,319	－	－	－	－	－	－	501	561	112.0	412	411	99.7
	小 計	201,601	2,189		－	－		－	－		2,027	2,016	99.5	2,299	2,189	95.2
観 葉 植 物 類		2,828	7	2,527	－	－	－	－	－	－	30	28	93.0	8	7	89.3
花 壇 苗		6,698	38	5,672	68,586	304	4,431	963	256	2,657	1,906	1,716	90.0	651	598	91.8
盆 栽 類		294	1	3,051	814	2	2,671	608	33	544	652	619	95.0	38	36	95.0
枝 物 ・ 花 木 類		2,021	2	748	－	－	－	2,331	100	429	2,137	2,351	110.0	98	101	103.4
苗 物		12,491	210	16,798	－	－	－	－	－	－	121	125	103.0	202	210	104.0
合 計		257,068	2,617		89,958	382		6,032	684		9,575	9,502	99.2	3,857	3,683	95.5

※統計表の数値については、表示単位未満を四捨五入しているため、表記した値とその比率が一致しないことがある。

《概況》

（切花類） 切り花全体の栽培面積は、前年比98%の2,647aと減少したため、生産額は前年比96.5%の542百万円となった。

（鉢花類） 鉢花類全体の栽培面積は、前年比99.5%の2,016aとほぼ前年並であったが、品目により面積や単価が低下したものがあつたことから、生産額は前年比95.2%の2,189百万円となった。

6 畜産物

種類別		区分	頭羽数(頭、千羽)		単位当たり生産量(kg)		生産量(t、%)			生産額(百万円、%)			kg当たり単価(円)		
		年次	5年	6年	5年	6年	5年(A)	6年(B)	比率(B/A)	5年(A)	6年(B)	比率(B/A)	5年	6年	
乳類	牛乳		2,250	2,120	8,983	9,431	20,212	19,994	98.9	2,827	2,899	102.5	140	145	
	山羊乳		243	221	295	295	72	65	90.9	8	7	92.0	112	113	
	小計						20,284	20,059	98.9	2,835	2,906	102.5			
肉類	牛	肉用	1,138	1,151	478	475	544	546	100.4	1,217	1,198	98.4	2,237	2,193	
		乳用	2,186	2,124	453	451	990	959	96.8	1,191	1,271	106.7	1,203	1,326	
		小計	3,324	3,275			1,534	1,505	98.1	2,408	2,469	102.5			
	馬		203	248	437	440	89	109	123.0	62	76	123.0	700	700	
	豚		31,472	25,037	79	79	2,486	1,978	79.6	1,611	1,328	82.5	648	672	
	山羊		347	316	34	34	12	11	91.1	12	11	91.1	1,000	1,000	
	緬羊		328	312	33	33	11	10	95.1	28	26	95.1	2,550	2,550	
	シカ		1,058	968	17	17	18	16	91.5	26	24	91.5	1,471	1,471	
	鶏	ブロイラー	1,767	1,757	2.4	2.4	4,294	4,259	99.2	1,752	1,648	94.1	408	387	
		廃鶏	485	489	1.7	1.7	829	836	100.8	41	42	100.8	50	50	
		小計	2,252	2,246			5,123	5,095	99.5	1,793	1,690	94.2			
	合計						9,273	8,725	94.1	5,941	5,625	94.7			
	卵	鶏卵		606	611	20.0	20.1	12,138	12,252	100.9	6,033	5,656	93.8	497	462
	その他の	蜜蜂	はちみつ	5,120	5,021	16.0	16.0	82	80	98.1	184	181	98.1	2,250	2,250
ローヤルゼリー等			512	502	0.25	0.25	kg 128	kg 126	98.0	33	33	98.0	260,000	260,000	
小計			5,632	5,523						218	213	98.1			
		原皮					頭 34,999	頭 28,560	81.6	0.4	0.1	25.0			
		内臓								75	86	114.7			
		小計								75	86	114.2			
販売堆肥		-	-	-	-	71,278	69,804	97.9	449	440	98.0	6300円/t	6300円/t		
合計									742	739	99.7				
総計									15,550	14,926	96.0				

※統計表の数値については、表示単位未満を四捨五入しているため、表記した値とその比率が一致しないことがある。

畜種別生産額

(単位:百万円)

		乳	肉 (牛・馬・ 山羊・綿羊・ シカ)	豚肉	鶏肉	鶏卵	蜂蜜等	原皮	内臓	販売堆肥	合計	構成比
乳 牛		2,899	1,271					0.05	37	105	4,311	28.9
肉 用 牛			1,198					0.01	25	87	1,310	8.8
豚				1,328				0.05	20	60	1,408	9.4
鶏	採 卵 鶏				42	5,656				57	5,755	-
	ブロイラー				1,648					121	1,769	-
	小 計				1,690	5,656				177	7,523	50.4
馬			76						5	10	91	0.6
山 羊		7	11								18	0.1
綿 羊			26								26	0.2
シ カ			24								24	0.2
蜜 蜂							213				213	1.4
合 計		2,906	2,607	1,328	1,690	5,656	213	0.1	86	440	14,926	100.0

《概況》

- (牛 乳) 生産量は前年比98.9%と減少したが、資材費や飼料費の高騰により単価(乳価)が前年比103.6%と上昇したため、生産額は前年比102.5%の2,899百万円となった。
- (牛 肉) 出荷頭数が前年比98.5%、生産量が前年比98.1%と減少したが、単価が前年比104.5%であったため、生産額は前年比102.5%の2,469百万円となった。
- (豚 肉) 単価は前年比103.6%と上昇したが、高齢化・後継者不足に加えて飼料や資材のコスト増による廃業や規模縮小等により出荷頭数が前年比79.6%となったため、生産額は前年比82.5%の1,328百万円となった。
- (鶏 肉) 出荷羽数・生産量ともに前年比99.7%と前年並みだったが、前年は飼料価格高騰や輸入鶏肉の価格上昇による国産鶏肉の需要拡大を背景に価格が上昇していたため、今年は需要が堅調に推移したものの単価が前年比94.8%に下落し、生産額は前年比94.2%の1,690百万円となった。
- (鶏 卵) 飼養羽数は前年比100.8%、生産量も前年比100.9%と前年並みだったが、前年の飼料価格高騰や鳥インフルエンザの影響による卵の出荷数減少に伴う価格上昇を受けて、今年の単価は前年の92.9%に下落し、生産額も前年比93.8%の5,656百万円となった。

7 その他

	生産量(t、%)			生産額(百万円、%)			kg当たり単価(円)	
	5年	6年	比率 (B/A)	5年	6年	比率 (B/A)	5年	6年
	(A)	(B)		(A)	(B)			
干 し 柿	482	438	90.9%	695	665	95.7%	1,442	1,518
そ の 他				1,446	1,322	91.4%		
合 計				2,141	1,987	92.8%		

※統計表の数値については、表示単位未満を四捨五入しているため、表記した値とその比率が一致しないことがある。

《概況》

（干し柿） 本年は原料柿の着果量が少なく、地域や品種により生理落果も見られたことから、干し柿全体の生産量は前年比90.9%となった。単価は前年比105.3%であり、生産額は前年比95.7%の665百万円となった。

（その他） その他は、県内の道の駅・直売施設等で販売された農産加工品等で、前年比91.4%の1,322百万円となった。

8 水産業

魚種名	区分	生産量(t、%)			生産額(百万円、%)			kg当たり単価(円)		備考
	年次	5年(A)	6年(B)	比率(B/A)	5年(A)	6年(B)	比率(B/A)	5年	6年	
ニジマス		692	742	107.2	629	799	127.0	908	1,077	甲斐サーモン、甲斐サーモンレッドを含む
ヤマメ、アマゴ、イワナ		148	151	102.0	220	238	108.2	1,483	1,571	
アユ		11	14	127.3	37	56	151.4	3,388	3,947	
ニシキゴイ		17	16	94.1	92	85	92.4	—	—	
富士の介		52	56	107.7	90	103	114.4	1,716	1,821	
その他		101	107	105.9	298	330	110.7	—	—	コイ・ウナギ・ブラウントラウト・スチールヘッド・ヒメマス等
養殖生産の計		1,021	1,086	106.4	1,366	1,611	117.9	—	—	

※統計表の数値については、表示単位未満を四捨五入しているため、表記した値とその比率が一致しないことがある。

《概況》

(ニジマス) ニジマスは、全国的に需要が増加したため、生産量は前年比107.2%と増加した。また、飼料費などの増加分を価格に転嫁したことや需要の増加により単価が前年比119%となったことから、生産額は前年比127%の799百万円となった。

(ヤマメ、アマゴ、イワナ) ヤマメ・アマゴ・イワナは、全国的に需要が増加したため、生産量は前年比102%と増加した。また、飼料費などの増加分を価格に転嫁したことや需要の増加により単価が前年比106%となったことから、生産額は前年比108.2%の238百万円となった

(富士の介) 富士の介は、生産効率が向上した業者があり、出荷量は前年比107.7%と増加した。また、飼料費などの増加分を価格に転嫁したことや需要の増加により単価が前年比106%となったことから、生産額は前年比114.4%の103百万円となった。

(参考)放流実績

区分	魚種	アユ	ニジマス	ヤマメ・アマゴ・イワナ	ウナギ	コイ	ワカサギ	フナ	ヒメマス	オオクチバス	その他	合計
		(千尾)	(千尾)	(千尾)	(kg)	(千尾)	(百万粒)	(千尾)	(千尾)	(千尾)		
湖沼		0	13	0	145	5	336	20	290	13	—	—
河川		2,135	64	508	81	1	0	3	0	0	—	—
合計		2,135	77	508	226	6	336	23	290	13	—	—
金額(千円)		34,659	12,382	47,494	1,205	739	12,845	4,735	19,178	9,259	1,038	143,535

※統計表の数値については、表示単位未満を四捨五入しているため、表記した値とその比率が一致しないことがある。

区分	販売額(百万円、%)			備考
	年次	5年(A)	6年(B)	
遊漁承認証売り上げ		188	189	100.5